

住みやすいまちづくり

板橋区は地域ごとの特色を生かしながら
先進的な施策を展開し
住みやすいまちづくりに取り組んでいます



■赤ちゃんの駅

赤ちゃんを連れていくとき立ち寄って、オムツ替えなどに利用できるスペースで、区立保育園・児童館など158施設(平成24年5月15日現在)を指定しています。板橋発の「赤ちゃんの駅」は、他の自治体にも広がり、2010年度グッドデザイン・ライフスケープデザイン賞を受賞しました。



■コミュニティバス「りんGO」

公共交通サービスの水準の向上や観光・文化の振興を推進するため、赤塚・徳丸・四葉・大門・高島平地域で運行しています。「りんGO」が巡る地域には、数多くの文化施設や自然豊かな公園など見どころが多くあります。乗車料金は、大人210円、子ども110円。

まよち

■板橋三丁目地区防災街区整備事業

板橋三丁目地区防災街区整備事業組合が災害に強いまちづくりと住環境の向上をめざして、密集していた木造建物などを除却し、耐火構造のビルや災害に有効な道路などの整備を行いました。板橋三丁目地区には、都内初として整備事業が導入され平成22年10月に竣工しています。



■ワインブロックの街とシルバーストリート

リサイクルが難しい輸入ワインびんをはじめとするガラスびんのリサイクルに民間企業・団体などと協働で取り組んでいます。ワインびんを原料に開発した「ワインブロック」や「街のシルバーストリート」を商店街や小学校など、まちのあらゆるところに設置しています。これらは、ワインびん独特の青や緑、茶といった色合いをそのまま生かすことができるので、まちの整備に彩りを加えています。

みどり

■緑のカーテン

ゴーヤーやヘチマなどのつる植物を窓の外に這わせ、夏の強い日差しを和らげ室温の上昇を抑える「緑のカーテン」。板橋区では、平成15年度に区立板橋第七小学校で緑のカーテン作りを始めたのをきっかけに、多くの公共施設をはじめ、商店街や地域ぐるみで取り組んでいます。暑い季節になるとまちのあちからこらで緑のカーテンを見ることが出来ます。

